

たのしいこといっぱい、としょかんへいこう!

2022

東近江市立図書館

八日市 (0748-24-1515)
永源寺 (0748-27-8050)
五個荘 (0748-48-2030)
愛東 (0749-46-2266)
湖東 (0749-45-2300)
能登川 (0748-42-7007)
蒲生 (0748-55-5701)

なつやすみ★おすすめ本
夏によむよむ

『トムと3時の小人』

たかどのほうこ/作 ポプラ社

つとむは、古道具屋で、赤い表紙のとてもおもしろそうな本を見つけました。でもそれは「下」巻。どうしてもぜんぶ読みたくて図書館に行くと、同じお話が1さつになった青い本が見つかりました。その古い本をドキドキしながら読んでみると……。



『なんでもただ会社』

ニコラ・ド・イルシング/作 日本標準

るすばんでたいくつしていたぼくは、めちゃくちゃな番号をおして、いたずら電話をかけてみた。すると、つながった相手は、「なんでもただ会社」。注文したものを1日に1つ、ただでくれるっていう会社だったんだ!



ねんせい
3・4年生へ

なつやす としょかん ほん
夏休み! 図書館おすすめの本、ぜひよんでね。

『さがす』

ながらひろみ
長倉洋海/作 アリス館

知らない土地に行けば、「生きる意味」が見つかると思っ、ぼくは世界のあちこちに出かけました。戦場や砂ばく、世界のはてでくらす人たちにおしえてもらったことは。



『ぼくらのなぞ虫大研究』

たにもとゆうじ
谷本雄治/作 あかね書房



調べ学習で同じチームになった厚志と香織がいつも言いあらしっている。内気な翔太はおされっぱなし。でもある日、校庭で「なぞの虫」を見つけた。虫にうれしい翔太のかつやくで、2人と仲良くなれそうだったけど……。

『ぼくちのねこのはなし』

いとうみく/作 くもん出版

一真の家のねこ、こころは16才。人間なら80才くらいのおじいちゃんだ。最近、あまり動かなくて食よくもない。病院でみてもらったら、治らない病気なんだって。いつまでも生きていてほしいけど、どうしたらいいんだろう。



『りりかさんのぬいぐるみ診療所 空色のルリエル』

かのゆうこ/作 講談社



森のなかにある「りりかぬいぐるみ診療所」。ぬいぐるみをあずけると、どんなにぼろぼろになっても、生まれ変わったようにきれいにしてくれます。さあ、今日もかん者さんがやってきましたよ。

『りりかさんのぬいぐるみ診療所 わたしのねこちゃん』もあります!



『あたしって、しあわせ!』

ローゼ・ラーゲルクラントツ/作 岩波書店

ねむれないときは、しあわせをかんじたときのことを思い出しているダウンネ。いつもしあわせとはかぎらないけれど、今夜はさいこうにしあわせで、ちっともねむれない。だって明日は、大好きな友だちにあえるのです。

『あいちゃんのひみつ』

～ダウン症をもつあいちゃんの、ママからのおてがみ～

たけやまみ な こ 竹山美奈子/取材・文 岩崎書店

「ダウン症」のあいちゃんは、小学4年生。「しょうがいてなに?」「ダウン症ってなに?」と思ったみんなへ、ちょっとむずかしいけれど、あいちゃんのからだのひみつをおはなしします。



『お話のたきぎをあつめる人』

ローレンティン妃、パウル・ヴァン・ローン/作 徳間書店

本が大好きなステレは、おじいちゃんに教えてもらったお城の中の「お話の図書館」に向かいます。でも図書館に入るドアを見つけるのはむずかしくて、まちがえると真っ赤なほのおがふき出したりするのです。



『スズメのくらし』

ひらののぶあき 平野伸明/文・写真 福音館書店



家の周りによく見かけるスズメ。身近な鳥ですが、実はわからないことがたくさんあります。たとえば、どこに巣をつくるのか、なぜ群れているのか、何を食べているのか……。スズメがどんなくらしをしているのか見てみましょう。

『みんなのためいき図鑑』

むらかみ 村上しいこ/作 童心社



クラスで作る「オリジナル図鑑」。ぼくたちの班だけどんな図鑑にするか決まらなくて、ためいきが出てきちゃう。そんなとき、同じ班の加世堂さんがノートに書いてくれた「ためいきこぞう」のイラストがとげぜん動き出して……。



3・4年生

